

鯖江市報道機関連絡票

10月25日

件名	近松 300 回忌記念イベント
とき	11月22日(水、近松忌)
ところ	近松会館・鯖江市文化センター・立待公民館
内容	<p>近松が初代坂田藤十郎のために書いた、坂井市三国が舞台の歌舞伎の最高傑作『けいせい仏の原』。その作品の中に登場し、実在する月窓寺の「くつはき阿弥陀如来」。元禄時代、『けいせい仏の原』の上演後、京都での出開帳の後、行方不明になっていましたが、近年、金龍院(滋賀県甲賀市)で320年の時を超えて発見されました。</p> <p>「くつはき阿弥陀如来」を「近松の里」に里帰りさせて、300回忌法要とパネルディスカッションを行います。近松の伯父にあたる杉森本家から鯖江市に寄贈された伝来の刀剣も展示いたします。</p> <p>日時 11月22日(水、近松忌)</p> <p>10時～16時 「くつはき阿弥陀如来」「杉森家伝来刀剣」展示 13時～13時25分 「くつはき阿弥陀如来」里帰り近松300回忌法要 場 所 近松坐像前(雨天の場合は近松会館)</p> <p>13時～ 近松忌記念俳句大会 場 所 立待公民館</p> <p>13時30分～15時 「パネルディスカッション」 テーマ 近松作品『けいせい仏の原』『曾根崎心中』に隠された謎!! 場 所 近松会館 パネラー 中村壱太郎(歌舞伎役者、坂田藤十郎孫、冒頭のみ) 佐藤浩希(フラメンコダンサー、『曾根崎心中』徳兵衛役、冒頭のみ) 三好修一郎福井大学名誉教授 静永秀明(金龍院ご住職)「くつはき阿弥陀如来」所有 コーディネーター 北西妃都美(地元歴史家)</p> <p>18:30～ 近松300回忌記念日本凱旋フラメンコ特別公演 会場 鯖江市文化センター 鍵田真由美・佐藤浩希舞踊団、中村壱太郎(特別出演)他</p>
問合せ先	<p>【課名】 立待公民館 【電話】 0778-51-3376 (内線)</p>